

第36期第13回常任理事会議事録

日 時：2011年9月28日（水）13時30分～17時00分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，経田，佐藤，田中，徳廣，
藤部，三上，余田，以上9名（常任理事現在
数13名）

欠席者：岩崎，近藤，中島，中村，以上4名

その他の出席者：田沢，萩原，渡辺（事務局）

議 事

1. 第36期第12回常任理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について
新入会員33，退会61を全会一致で承認。2011年9月26日現在，会員数3,846名で通常会員は1,073名。
3. 寄付金の取扱いについて
昨年秋に逝去された柳井迪雄名誉会員の奥様からと東京大学大気海洋研究所の高藪 縁会員からの寄付金の取扱いについて議論した。前者は「国際学術交流基金」，後者は運営経費の一部に組み入れることを全会一致で承認した。
4. 日本気象学会第37期役員選挙管理委員会委員長の推薦について
第37期役員選挙管理委員会委員長に横手嘉二会員を推薦することを確認した。理事会で承認を得る。
5. 各委員会からの報告
庶務…

1) 転載許可

- ①申請者等：有限会社アイランズセカンド
代表者 赤岩州五

転載元：Fig.1, T. Takemura, H. Nakamura, M. Takigawa, H. Kondo, T. Satomura, T. Miyasaka and T. Nakajima, 2011: A Numerical Simulation of Global Transport of Atmospheric Particles Emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, SOLA, Vol.7, 101-104.

転載先：「よくわかるアジア地図帳」今谷 明，樋口広芳ほか監修／有限会社アイランズセカンド発行

- ②申請者等：京都大学生存圏研究所 山本真之
転載元：Fig.4, Fig.8, K. Nishimura, T. Harada and T. Sato, 2010: Multistatic Radar Observation of a Fine-Scale Wind Field with a

Coupling-Compensated Adaptive Array Technique, JMSJ, Vol.88, 409-424.

転載先：「Doppler Radar」Intech 社発行

2) 後援名義等使用依頼受付

- ①名称：CIGR 国際シンポジウム2011
主催：日本学術会議 農業委員会・食料科学委員会合同 CIGR 分科会

期日：2011年9月19日（月）～23日（金）

場所：タワーホール船堀

名義：協賛

- ②名称：第12回「こどものためのジオ・カーニバル」

主催：「21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム実行委員会」こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

期日：2011年11月5～6日

場所：大阪市立科学館

名義：後援

- ③名称：可視化情報全国講演会（富山2011）

主催：社団法人 可視化情報学会

期日：2011年9月26～27日

場所：富山国際会議場

名義：後援

- ④名称：第37回リモートセンシングシンポジウム

主催：公益社団法人 計測自動制御学会

期日：2011年10月31日

場所：首都大学東京

名義：協賛

- 3) 東北地方太平洋沖地震被災会員の年会費の免除申請について

これまでに3名の申請があった。締切が11月11日と，まだ間があるので HP に再度掲載する。

- 4) その他

- ・ 8月23日：2010年会費未納者53名を退会とした。
- ・ 9月13日：井上學術賞受賞候補者を推薦。
- ・ 9月21日：東レ科学技術研究助成候補者を推薦。

会計…2011年7月分および8月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol.58 No.9 (2011年9月号) の掲載記事

と、Vol.58 No.10 (2011年10月号) と Vol.58 No.11 (2011年11月号) の予定記事の報告。

- 来年の天気印刷業務に関して、業者選定の指名競争入札に向けた準備状況の報告。

気象集誌…Vol.89 No. 6 の掲載論文の報告。

- 新しい投稿一査読システムを開始し、このことをホームページ等にて案内したことが報告された。

気象研究ノート…過去発行分の PDF 化作業の進捗状況の報告。

SOLA…新しい投稿一査読システムを開始し、このことをホームページ等にて案内したことが報告された。

- システム更新に伴い、書式等投稿規定の見直しの報告。

講演企画…2011年度秋季大会の準備状況について報告。口頭発表は312件、ポスターは189件を受け付けた。

- 大会開催地である名古屋をはじめ、台風による大雨の影響を受けた地域が多いことから、気象災害関係の研究会の開催を検討した。

総合計画…第36期第1回評議員会を今年12月22日に開催し、学会の社会的責任をテーマに、意見を伺う予定であることが報告された。

- 公益法人への移行作業の進捗状況の報告。

教育と普及…夏季大学が無事終了したことが報告さ

れた。

- 気象予報士が継続的に気象予報に関する技能研鑽を積む気象予報士 CPD 制度について、制度設立準備段階から参加し関係者と議論を進めていることが報告された。

国際学術交流…11月3、4日に中国アモイで開催される第2回 IFMS (International Forum of Meteorological Societies) の議題の確認と出席について検討を行った。

6. 2011年度春季大会開催経費の決算について

2011年度春季大会実行委員会委員長より開催経費等の決算報告を受けて、例年より賛助金と会場施設使用料が増加していることを確認した。支出増に見合った本部交付金の規模見直しの必要性を検討した。

7. 会員情報管理ソフトの更新について

公益法人移行による会員制度変更に伴い、会員情報管理ソフトの改修もしくは移行の必要性が報告された。並行運用の設置や移行費用の調査の必要性を確認し、今後予算化することを承認した。

平成23年10月18日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸